

(株)フクナガエンジニアリングとお客様をつなぐコミュニケーション誌

FECO NEWS

フェコニュース

2014. Winter vol.50

里山の風景 vol.10

激動の2014年も残り1ヶ月を切りました。「去年今年貫く棒の如きもの(高浜虚子)」のように変わらぬ思いでこれからも皆様のお役に立つフクナガであり続けます。来年もご愛顧を賜りますようお願いいたします。

金属を通じて日本と世界をつなげたい

2014年4月にベトナムに現地法人を設立したフクナガの想いと展望をお伝えします。



月刊総合情報誌「メタル・リサイクル・マンスリー」に2014年11月1日号に弊社の業務内容についての記事が掲載されました。
メインコピーは「金属リサイクルを通じて世界を変える」。金属リサイクル業を始めて約70年の歴史をもつフクナガエンジニアリングのグローバル展開に焦点を当てた内容になっています。

この情報誌は、金属スクラップを中心に、業界トピックスリサイクル関連情報、法律解説などを盛り込んだ金属スクラップ総合情報誌で、金属スクラップ業界をはじめ、自治体、廃棄物業界など、広い分野で支持されています。

新たな環境ビジネスへの挑戦を続ける弊社の事業の中でも、特にベトナムへの進出について紹介されました。2014年4月にベトナムに現地法人を設立した理由として、「フレコンバッグをOEMにより現地の委託工場で生産していた絡みもあるが、最大の理由はリサイクル技術の

かせないものか、日系企業や新興国の資源再生に貢献できないかと考えました。

ベトナムの現地法人ではアルミ合金地金などの販売を中心にしながら、日本から技術者を派遣し、地元企業のリサイクル技術を指導しています。

ステンレス原料の販売、中古鋼材の輸入販売、弊社の事業でもあるフレコンバッグやノーパンクタイヤの販売や輸出も行っています。

ともすればグローバル展開は遠いものと思われがちですが、そういう意識を払拭するようないきがフクナガにはあると記事には書かれています。

まさにその通りで、日本だけの市場で考えているのは解決できない課題がスクラップの需給ギャップ。視野を広げ、開拓精神をつねに持ち続ける社風をもつフクナガはそのギャップを埋める方法を模索しています。

私どものグローバルな活動が、国際化する静脈ビジネスの一翼を担うことへの期待も記事から伺えました。これからも金属リサイクルを通じて社会に貢献していきたいと考えています。

遅れを痛感したことから書かれています。たしかにベトナムでのリサイクル技術水準は日本の50年以上前の状態。この状況を見て、弊社が持つ知識やノウハウ

を何とか生



(このビルの2階に、ベトナムフクナガの事務所があります)

ベトナムで事業を展開する想い

ベトナムの金属再資源化技術はまだ発展途上ですが、国際レベルを目指すベトナム企業が多く存在します。弊社は、日本本社での70年の金属再資源化事業の経験を活かし、ベトナムに合った再資源化を共に考え、議論し国際レベルを目指す企業と緒になってベトナム国の金属再資源化市場を発展させていきたいです。そうする事でベトナムに進出をされた日系企業を含むベトナム国の製造業に、安定的に再資源化した原料を供給でき、ベトナム国、しいては進出された企業の発展に貢献できると考えています。

いまメインで扱っている事業

スアンレス原料やアルミ合金地金(アルミ原料)の販売をメインに行っています。加えて、アルミ製錬技術向上のための国の助成金を活用し、日本から技術者を派遣し、ベトナム国内の日系企業が安心して利用できる原料を納めています。

アルミの再資源化における日本とベトナムの違い

ベトナムでは、日本の50年以上前の技術水準でアルミの再資源化を行っています。例えば、原料のアルミスクラップと鉄スクラップを分ける時も、日本では機械で選別するが、ベトナムでは手持ち磁石を使って、人の手で分けられています。また、溶解するときには、日本では、何十tというアルミを溶かせる大きな炉を利用して溶かしますが、ベトナムでは、まだまだ坩堝(るつぼ)炉という鍋釜のような炉で尺を使い溶かしている工場が多いです。もちろんベトナムでも、機械を使って溶かすところも増えてきてはいますが、大きな機械を入れても技術が上がるわけではなく、案件によっては、手で溶かす方が良い場合もあります。また、スクラップに関しても、地域ごとに強いスクラップがあり、アルミ缶のスクラップが多く集まる地域、アルミサッシのスクラップが多く集まる地域とそれぞれの地域によって集まるスクラップが異なる点も日本と異なる特徴です。

今後のベトナムフクナガの展開

今後は、金属事業のみならず、ベトナム国内にて、フレキシブルコンテナバッグやノーパンクタイヤの製造・販売も広がっていきます。また、金属事業に関しては、ベトナムを拠点とし、東南アジア、南アジアへの展開をしていき、金属を通じて日本と世界をつなげたいと考えています。

ベトナムハノイオフィス担当



名前
渡邊 花

趣味
フットサル、
フラワーアレンジメント

仕事内容:ベトナム国内にある日系企業のお客様の要望・課題を聞き、ガーが見つけてきたベトナム現地企業とうまく合わせ、課題解決提案します。

名前
マイ・チー・タン・ガー

趣味
お茶を飲むこと。

仕事内容:ベトナム現地でのネットワークを活かし、日本語・ベトナム語を駆使し、ベトナム国内の工場や現地ローカルの工場の開拓や価格交渉を行います。

若さと発展途上の市場ベトナムで

ベトナムの魅力は、若さと発展途上の市場。人口の平均年齢は、およそ27~28歳と若く、今後の市場の発展が期待されています。前述の通り、金属の再資源化に関しても日本の技術水準まではまだ至っていない分、ビジネスチャンスがあり、発展の伸び代が日本にはないベトナムの面白い部分ではないでしょうか。

展示会レポート ご来場ありがとうございました

キクロス事業部

国際物流総合展2014

開催期間:2014年9月9日(火)~9月12日(金)

来場者数(4日間):54,686名

フクナガのブースへの訪問数

会社数:198社

人数:469名

『ブース内容』

■ノーバンクタイヤ

■エアータイヤ

・アドバンス ・ORCA

・T-900



『まとめ』

4日間での来場者は5万人を超える大盛況で、当社ブースにも約200社469名も訪問していただきました。

ブース内ではノーバンクタイヤの2ブランドをはじめ、エアータイヤT-900の14.00-24インチという大型タイヤも展示しインパクトも持っていたと思います。

また実際の品質をブース内で感じていただくために、ノーバンクタイヤ「アドバンス」のクッション性を表現する装置などを設置しお客様自身で体験していただきました。

今回の展示会で実際の商品を目の前に、お客様の貴重なご意見を多くいただきこれからのフクナガの商品をより多くのお客様に使っていただくために、顧客対応、商品開発、独自サービス、などの充実を事業部全員で行っていきたくと思っています。

ソフトバッグ事業部

東京国際包装展 TOKYO PACK2014

開催期間:2014年10月7日(月)~10月10日(木)



左のような劇画調の強烈なメッセージをバックに各種フレコンを展示してきました。品揃えが多く、ベルトの強度や生地丈夫さに自信がある小容量フレコンをはじめ、特長のある新商品をわかりやすく訴求しました。たくさんあるフレコンメーカーの中でも「ふくろ屋ふくなが」ならではの「違い」や「こだわり」をお伝える展示ブースづくりを目指しました。

展示物



① 新商品 耐熱100℃ 『ヒートバリアバッグ』

耐熱PP内袋を装着したフレコンバッグ焼却灰などの温度の高い内容物も冷まらずに投入できるフレコンバッグPP内袋をホットプレートで熱した実験映像を流したり、PP内袋を実際に触っていただきました!

② 通気性のある 水切りフレコンバッグ

通常生地と水切り生地の透水性実験道具を使い水抜け時間の違いを見ていただきました!

『まとめ』

4日間で約700社以上の方々とお話させていただき、さまざまなお悩みを聞かせていただきました。海外連携工場との連携での問題など、海外でフレコンをお使いのお客様に「すぐ破れる」「サイズがバラバラ」「コンタミ問題」などのフレコントラブルのご相談に乗らせていただきます。国内だけでなく、中国、東南アジアなどへフレコンを提供することもできます。今後とも皆様の使用現場の悩みを解決できる「ちょうど良い」フレコンをご提供できるよう努力してまいりますので、今後ともよろしく申し上げます。



金属スクラップ買い取り

□リ・メタル事業部 TEL:06-6969-3631 FAX:06-6969-3611



ネットで買えるフレコンバッグ『ふくろ屋ふくなが』

□ソフトバッグ事業部 TEL:06-6969-3632 FAX:06-6969-3633



産業車輪用タイヤなら

□キクロス事業部 TEL:06-6969-7655 FAX:06-6962-1613

□キクロス事業部 関東オフィス TEL:044-233-4008 FAX:044-233-4009

□管 理 部 TEL:06-6969-3647 FAX:06-6969-3633

編集後記

さて今号では4月に設立致しましたベトナム現地法人についてご紹介させていただきました。私はまだ日本から出たことがないので、一度ベトナムにも行ってみたいです。各事業部の展示会も終わりもうすぐ今年も終わりますが早いものですね。だんだん肌寒くなってきましたが風邪やインフルエンザには気を付けましょう。来年もどうぞよろしくお願い致します!



足立晴菜

(あだち はるな)

※省エネ・省資源にともない、私たちはフェコニュースをPDF版にて配布しております。ご賛同いただける方は、アンケート用紙にメールアドレスをご記入ください。次回よりメールでお送りいたします。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



発行元:株式会社フクナガエンジニアリング
〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西5-13-30
tel: 06-6969-7657

fax: 06-6969-3633

e-mail: feconews@ecosoft.co.jp

URL: http://www.ecosoft.co.jp

